

単位認定と成績

1. 単位認定（単位の修得）

次の前提条件を満たす必要があります。

- ① 単位認定を受けようとする科目が正しく履修登録されていること。
- ② 単位認定に相応しい時間数の学修をしていること。

原則として、授業回数の3分の2以上を出席しなければ、単位の認定が行われません。その他の条件はシラバスや授業内で確認してください（科目によっては、より厳しい条件を課すものがあります）。

- ③ 担当教員の評価が合格点に達していること。
- ④ 担当教員の指示を充たしていること。

2. 成績

成績評価は100点満点法により60点以上が合格、59点以下が不合格です。

	評価		成績表への記載	成績証明書への記載
	記号	素点		
合格	S	100～90	記号表記と 素点表記	記号表記
	A	89～80		
	B	79～70		
	C	69～60		
	N	N	記号表記	
不合格	F	59～0	記号表記と素点表記	表記なし

※ 記号「N」は「認定」を表します。単位互換等で認定された科目に「N」と記載されます。

3. 成績発表

翌セメスター開始前のオリエンテーション期間中、または進級判定時に成績を発表します。

4. 成績表記調査

シラバスに記載された評価基準、および授業の中での評価基準の説明を十分に考慮した上で、明らかに自分の成績が誤りであると考えられ、それを具体的に説明できる場合、成績表記調査を申し出ることができます。

申請方法：指定された期間内に「成績表記調査申請書」を教務センターに提出してください。

申請期間は成績発表時にお知らせします。

受 付：「成績表記調査申請書」の記載内容を確認して、明らかに成績表記が誤りであると思われる場合は、申請書を受け付けます。

回 答：文書により回答します。

注 意：成績表記が誤りであるケースは極めて少なく、学生本人が評価方法や授業中の説明を理解していないために、成績表記が誤りであると思い込んでいるケースが大半です。事前に十分に検討してください。

5. 進級要件

上級学年に進級するためには、各学年において学科で定めた要件を満たさなければなりません。

経済学科、経営学科、心理学科、歴史文化学科、バイオサイエンス学科、バイオ環境デザイン学科、食農学科、健康スポーツ学科

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
卒業要件としての修得単位数 ※	28 単位以上	60 単位以上	96 単位以上 (バイオ環境学部は 100 単位以上)
単位修得が必要な 大学共通 コア科目	スタートアップゼミⅠ	スタートアップゼミⅡ 日本語リテラシーⅠ・Ⅱ 数的処理Ⅰ・Ⅱ 情報リテラシー 英語Ⅰ、英会話Ⅰ キャリアデザインⅠ・Ⅱ SLSⅠ・Ⅱ (バイオ環境 学部は SLSⅠ-B、Ⅱ) *外国人留学生は、日本語リ テラシーⅠ・Ⅱと数的処理Ⅰ ・Ⅱの代替として、日本語Ⅰ ・Ⅱの単位を修得しているこ と。	英語Ⅱ・Ⅲ 英会話Ⅱ・Ⅲ SLSⅢ・Ⅳ (バイオ環 境学部は SLSⅣ不要) *外国人留学生は、さらに 日本語作文演習の単位を修 得していること。
単位修得が必要な 専門科目		経済学科：ミクロ経済入 門、 マクロ経済入 門 経営学科：会計学入門、 経営戦略論入 門 心理学科： 社会・産業基礎演習、 心理 演習、および心理学実 験の 内、2科目以上の単位 を修 得していること。	
在学期間	1 年次に 1 年間在学し ていること。	2 年次進級後に 1 年間在 学 していること。	3 年次進級後に 1 年間 在学していること。
留年期間・ 学費納入	留年期間は最低半年間 とし、入学年次生の 1 年生の該当学費を納入 する。	留年期間は最低半年間と し、入学年次生の 2 年生 の該当学費を納入する。	留年期間は最低半年間 とし、入学年次生の 3 年生の該当学費を納入 する。

(※成績表の「認定単位数」枠内の単位)

看護学科、言語聴覚学科

	2 年次終了時	3 年次終了時
卒業要件としての修得単位数 ※	基礎分野における卒業要件 (22 単位以上の修得)	—
修得科目	2 年次終了時までに関講した必修科目すべて	3 年次終了時までに関講した必修科目すべて

(※成績表の「認定単位数」枠内の単位)

機械電気システム工学科

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
卒業要件としての修得単位数 ※	28 単位以上	60 単位以上	96 単位以上
必修科目 (共通)		英語科目より 必修 10 単位を含む 18 単位以上	
必修科目 (専門)	物理工学Ⅰ 物理工学Ⅰ 演習 微分積分と線形代数Ⅰ 微分積分と線形代数Ⅰ 演習		プレキャップストーンプロジェクトⅠ プレキャップストーンプロジェクトⅡ
在学期間	1 年次に 1 年間在学していること。	2 年次進級後に 1 年間在学していること。	3 年次進級後に 1 年間在学していること。
留年期間 ・学費納入	留年期間は最低半年間とし、入学年次生の 1 年生の該当学費を納入する。	留年期間は最低半年間とし、入学年次生の 2 年生の該当学費を納入する。	留年期間は最低半年間とし、入学年次生の 3 年生の該当学費を納入する。

(※成績表の「認定単位数」枠内の単位)

GPAについて

本学では、GPA（Grade Point Average）を導入しています。GPA とは大学の成績評価の方法の一つで、学力を測る指標となっています。

1. 本学の GPA 計算の方法と対象科目

S（90～100 点）＝4 ポイント、A（80～89 点）＝3 ポイント、B（70～79 点）＝2 ポイント、C（60～69 点）＝1 ポイント、F（59 点以下）＝0 ポイントとして、それに各単位数を掛けて加えた合計点を、履修登録科目の総単位数で割って計算します。下の計算式で GPA は求められます。

（計算式）

$$\text{GPA} = \frac{\begin{aligned} & (4 \text{ ポイント} \times \text{Sの科目の単位数合計}) + (3 \text{ ポイント} \times \text{Aの科目の単位数合計}) \\ & + (2 \text{ ポイント} \times \text{Bの科目の単位数合計}) + (1 \text{ ポイント} \times \text{Cの科目の単位数合計}) \\ & + (0 \text{ ポイント} \times \text{Fの科目の単位数合計}) \end{aligned}}{\text{総単位数（分子となる科目の単位数の合計）}}$$

GPA 計算時の対象科目は、履修登録をしたすべての科目のうち卒業要件の対象となる科目とします。ただし、大学コンソーシアム京都単位互換科目、留学によって修得した認定科目など（評価が「N」と表される科目）は除きます。

本学では、みなさんに発表する成績には不合格・履修放棄科目も含んだすべての科目が表示され、GPA の計算に算入されることとなります。つまり、修得した単位数や S・A・B・C の数だけで評価するのではなく、大学の教育課程において、全ての履修登録科目にいかに関与したかが数値によって表現されます。

2. GPA 値の確認方法

入学後に履修登録したすべての科目の通算 GPA 値が成績に表示されます。

3. GPA 値の学内利用

GPA 値は、学内における奨学金審査等で用いられています。成績基準として GPA 値が各種奨学金やその他の申請等の条件となる場合には、別途募集要項等に記載します。

学修ポートフォリオについて

本学では、学生のみなさん一人ひとりが自らの学びの成果（学修成果）を振り返るツールとして、「先端なび」の中に学修ポートフォリオを設定しています（2020 年秋学期導入予定）。

学修ポートフォリオを通じて、定期的に自身の学びを振り返ることで、学修の到達度を振り返り、また今後取り組むべき課題を発見することができます。大学の学びでは、ただ単に授業を受講するに留まらず、4 年間の学びを自らで開拓し深めていくことが重要になります。こういったツールも使いながら、皆さん自身の学びをより深化していくことを期待しています。

卒業と学位

卒業は、大学が定める教育課程の修了であり、各学科の定める「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に沿って、学位が授与されます。

1. 卒業および学位

卒業するためには、大学が定める教育課程に従って学修し、次の卒業要件をすべて満たすことが必要です。

(1) 所定在学年数

4 か年以上在学し、各学年 1 年以上在学していること。休学期間は在学年数に含みません。

(2) 所定単位の修得

卒業必要単位数・必修条件等を満たしていること。

(3) 卒業判定

所定在学年数の要件を満たすことになる在学学生を対象に卒業判定を行います。この卒業判定に合格した場合に、卒業が認定されます。

2. 卒業見込

卒業見込証明書の発行基準は以下のとおりです。卒業見込は、卒業を保証するものではありません。

(1) 第7セメスター開始時

卒業に必要な単位数（要卒単位数）から第7セメスターと第8セメスターで登録できる単位数を差し引いた単位を修得していること。

(2) 第8セメスター開始時

卒業に必要な単位数（要卒単位数）から第8セメスターで登録できる単位数を差し引いた単位を修得していること。

第7セメスターで卒業見込証明書を発行されていた場合でも、成績次第で第8セメスターでは発行されない場合もあり得ます。

3. 学位

学部名	学科名	学位
経済経営学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
人文学部	心理学科	学士（人文）
	歴史文化学科	学士（人文）
健康医療学部	看護学科	学士（看護学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	健康スポーツ学科	学士（健康スポーツ学）
バイオ環境学部	バイオサイエンス学科	学士（バイオ環境）
	バイオ環境デザイン学科	学士（バイオ環境）
	食農学科	学士（バイオ環境）
工学部	機械電気システム工学科	学士（工学）

卒業認定の基準(令和2年度入学生)

〔経済経営学部 経済学科〕

合計 124 単位（必修 43 単位、選択 81 単位）以上を修得し、かつ卒業論文の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

専門科目から 74 単位以上を修得。その内、学部共通科目入門科目とキャリア科目から 8 単位以上、学科専門科目基礎科目から必修 10 単位、並びに学部共通科目と学科専門科目から 44 単位以上を修得。なお、他学部・他学科などで修得した単位は 12 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

〔経済経営学部 経営学科〕

合計 124 単位（必修 41 単位、選択 83 単位）以上を修得し、かつ卒業論文の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

専門科目から 74 単位以上を修得。その内、学部共通科目入門科目とキャリア科目から 8 単位以上、学科専門科目基礎科目から必修 8 単位、並びに学部共通科目と学科専門科目から 46 単位以上を修得。なお、他学部・他学科などで修得した単位は 12 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

〔人文学部 心理学科〕

合計 124 単位（必修 35 単位、選択 89 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必

修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目から 62 単位以上を修得。その内、基礎科目から 8 単位、展開科目から必修 2 単位を含む 54 単位を含める。

学科専門科目、他学部科目などから、任意に 12 単位以上を修得（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

〔人文学部 歴史文化学科〕

合計 128 単位（必修 43 単位、選択 85 単位）以上を修得し、かつ卒業研究の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目から 72 単位以上を修得。その内、基礎科目から必修 10 単位を含む 22 単位、展開科目 22 単位を含める。

学科専門科目、他学部科目などから、任意に 6 単位以上を修得（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

〔バイオ環境学部 バイオサイエンス学科〕

合計 128 単位（必修 69 単位、選択 59 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から必修 4 単位を含む 12 単位以上、専門基礎科目から必修 3 単位を含む 16 単位以上、専門科目から必修 29 単位を含む 40 単位以上を修得すること。なお、選択 42 単位の内、10 単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48 単位（1 年次）48 単位（2 年次）48 単位（3 年次）40 単位（4 年次）（年間））

〔バイオ環境学部 バイオ環境デザイン学科〕

合計 128 単位（必修 48 単位、選択 80 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から 12 単位以上、専門基礎科目から必修 1 単位を含む 16 単位以上、専門科目から必修 14 単位を含む 40 単位以上を修得すること。また、学科専門科目の内、基礎科目の選択必修科目群から 10 単位以上、専門科目の選択必修科目群から 20 単位以上を修得すること。選択 63 単位の内、10 単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48 単位（1 年次）48 単位（2 年次）48 単位（3 年次）40 単位（4 年次）（年間））

〔バイオ環境学部 食農学科〕

合計 128 単位（必修 59 単位、選択 69 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から必修 4 単位を含む 12 単位以上、専門基礎科目から必修 8 単位を含む 16 単位以上、専門科目から必修 14 単位を含む 40 単位以上を修得すること。また、学科専門科目の内、専門科目の選択必修科目群から 14 単位以上を修得すること。選択 52 単位の内、10 単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48 単位（1 年次）48 単位（2 年次）48 単位（3 年次）40 単位（4 年次）（年間））

〔健康医療学部 看護学科〕

基礎分野教養から必修 11 単位を含む 14 単位以上、情報から必修 2 単位を含む 2 単位以上、外国語から必修 6 単位、専門基礎分野から必修 23 単位、専門分野看護の基礎から必修

26 単位、看護の実践から必修 35 単位、看護の発展とコミュニティーケアから必修 13 単位を含む 18 単位以上、合計 124 単位（必修 116 単位、選択 8 単位）以上を修得すること。
（履修科目の登録上限：24 単位（半期））

〔健康医療学部 言語聴覚学科〕

基礎分野から必修 15 単位を含む 22 単位以上、専門基礎分野から必修 43 単位を含む 43 単位以上、専門分野から必修 59 単位を含む 59 単位以上、合計 124 単位（必修 117 単位、選択 7 単位）以上を修得すること。
（履修科目の登録上限：24 単位（半期））

〔健康医療学部 健康スポーツ学科〕

合計 124 単位（必修 51 単位、選択 73 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。
大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。
専門科目から 74 単位以上を修得。その内、基礎科目から必修 6 単位、演習科目から必修 8 単位以上を修得。なお、他学部などで修得した単位は 6 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。
（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

〔工学部 機械電気システム工学科〕

未来展望科目・公民教養科目より 4 単位以上、語学科目より必修 10 単位を含んで 18 単位（外国人留学生は、日本語科目より 18 単位）以上、スタートアップ科目必修 4 単位、スポーツ科目必修 4 単位の計 30 単位以上を修得すること。
専門共通科目（基礎）43 単位より必修 35 単位を含む 36 単位以上、専門科目（基礎）12 単位より必修 3 単位を含む 9 単位以上、専門科目（応用・発展）47 単位より 24 単位以上、実験・実習科目 14 単位より必修 8 単位を含む 10 単位以上、総合演習 20 単位より必修 6 単位を含む 10 単位以上、その他学部専門科目全体より 9 単位以上修得すること。但し、総合演習の「キャップストーンプロジェクトⅠ・Ⅱ」又は、「研究室プロジェクトⅠ・Ⅱ」は、選択必修科目とする。
大学共通科目 30 単位以上と学部専門科目 98 単位以上を合わせて計 128 単位以上を修得すること。